

本校ホームページをご覧くださいありがとうございます。

10月30日(月)に、昨年より10日早く木枯らし1号が吹きました。北の地方からは雪の便りも届いています。朝夕の冷え込みは厳しくなっておりますので、体調管理に気をつけていただきたいと思います。

本校は11月14日より、海外英語ビジネス研修旅行(修学旅行)を実施します。旅行先は昨年に引き続きベトナムです。本校は、平成21年度から海外修学旅行を実施していますので、今回が10回目となります。今回の校長通信では、「ベトナムから学ぶ」と題して、しおりに掲載した校長挨拶文をご紹介します。

「ベトナムは、面積が33万1,690平方キロメートルで日本の約0.9倍の広さの南北に長い国です。総人口約9,073万人のうち、北部の首都ハノイ市に約700万人、南部のホーチミン市に約800万人が住んでいます。経済・工業の中心ハノイ、観光の中心ホーチミン、この2都市に人口が集中していると言えます。日本とは一貫して友好関係を維持しており、日本に留学しているベトナム人は28,061人で、ベトナムに在留している日本人は12,254人と、こちらも多くの日本人が滞在しています。学术交流も密に行われていることから、本校の修学旅行にぴったりの国ということができます。

ベトナムは、中国と国境で接しているため、近隣諸国と同様、中国を宗主国とする体制をとっていましたが、1428年に中国から独立しました。1802年グエン王朝が成立しましたが、1884年フランス領インドシナ連邦に編入されました。第二次世界大戦の折に、日本が石油や鉄鉱石等を求めて進駐したことは歴史の授業で学んだかと思います。

1945年8月には革命を経てベトナム民主共和国樹立を宣言し、ホー・チ・ミンが初代国家主席に就任しました。ちなみに、ホーチミン市は、ベトナムの父と呼ばれた彼の名前に由来します。そして、ベトナムの歴史の中で大きな出来事のベトナム戦争です。1960年代初めから1975年まで長期にわたった南北ベトナムの武力衝突です。アメリカとソ連・中国の政治的戦略的な戦争に巻き込まれたと言えるかもしれません。北ベトナムが勝利し、アメリカ軍が撤退しましたが、南北ベトナム人が200万人も犠牲になっています。1976年に南北ベトナムが統一され、ベトナム社会主義共和国が成立しています。

ベトナムは現在、経済面で目覚ましい発展を遂げ、ベトナム独自の特色ある文化を発展させるとともに、中国やフランス等から流入した文化も取り入れ、多くの世界遺産も存在します。しかし、その背後には以上のような苦難の歴史があったことも念頭において学習を深めて欲しいと思います。

皆さんはこれまで英語やビジネスの授業、イングリッシュ・キャンプといった学校行事、観光地を見学しながら海外の留学生と交流するなど、コミュニケーション能力や「RESPECT」の精神を身に付けてきました。そして、今回のベトナム修学旅行では、これまでの学習がどれだけ通用するのかを試すとともに、帰国後にはその経験を踏まえ、卒業までの高校生活を有意義に過ごすための新たな目標を立ててほしいと思います。2年生の皆さんが、積極的に現地の方々とふれあい、ベトナムを大いに楽しみ、ベトナムから多くのことを学びながら、第13期生として千早高校の新たな歴史を築くことを期待しています。」